

末永恵子 編

『新聞にみる福島の医療』

福島県内の高等教育機関の連携による福島学プログラムからのブックレットとして発行された。新聞記事を紹介しながら明治初年からの福島の医療の変遷を辿り、2011年の原発震災で終わっている。本文部分は国内全体の医療・医学の変遷と絡めた福島の医療の通史であり、途中で挿入されるコラム部分は戊辰戦争時の看護や野口英世などの福島の医療に関連する出来事を扱った新聞記事を紹介し、国内全体の動きと福島の動きを見通すことができるようになっている。

内 容

はじめに	8
福島の医療の歴史／新聞と医療／福島の新聞	
第一章 近代の出発	12
戊辰戦争における西洋医学の活躍／近代的医療機関の創設／県立病院／医師と看護婦の養成／伝染病と福島県／県立医学校・県立病院の廃止／私立病院の開設／人々の暮らし	
第二章 近代の光と影	34
近代医学の功労者／公立福島病院の発展／医療機関と医療従事者の数／福島県の衛生状況	

／福島県とハンセン病／浅層と福島県の医療／福島県の健民運動／医療保険の拡大と医師会の再編／福島県への女子医専誘致／戦中の窮乏生活／敗戦

第三章 戦後の出発 62

占領下における医療の再編／水道水の消毒／DDTの散布／ジフテリア予防接種禍／医療の再出発／第一次医療技術革新／第二次医療技術革新／経済成長と環境／交通事故／農業による健康被害

第四章 現代の医療 82

変わる医師・患者関係／医療技術の問題点／医師不足／県立病院の再編／救急患者の受け入れ拒否と管轄外搬送／医師不足解消への対策

第五章 原発震災と福島の医療 98

原発事故／医療への影響／放射能の影響
(澤井 直)

[アカデミア・コンソーシアムふくしま, 〒960-1296 福島市金谷川1番地 (福島大学大学連携センター内), TEL. 024 (548) 5295, 2012年3月, A5判, 108頁]